



# ESD推進のための ユネスコスクール宣言 (ユネスコスクール岡山宣言)

2014年11月8日(土)

ユネスコスクール世界大会 全国大会(岡山)にて採択

# 宣言の枠組み



1. 日本のユネスコスクール教職員を中心とする教育現場からの宣言
2. 日本のユネスコスクールのこの10年の経験に基づきながら、ローカル、ナショナル、グローバルな視点も盛り込んだ宣言
3. この10年の成果と課題を共有し、あらたな誓いと提案を描いた宣言

# 宣言の対象



1. 国内のユネスコスクール自身にむけて(児童生徒、教職員)
  2. 世界のユネスコスクールにむけて
  3. ユネスコスクール以外の学校にむけて(国内)
- さらに
4. ユネスコスクールを取り巻く地域および国の政策決定者にむけて
  5. ユネスコ(国内委員会・パリ本部)にむけて

# 宣言の起草から採択のプロセス

- ユネスコスクールESD実践事例集への応募事例
- 「宣言に託すメッセージ」
- これまでのユネスコスクール全国大会・地域交流会
- ユネスコスクール・ESD関連の国際的な宣言の分析
- 宣言起草担当委員の知見
- 宣言案をユネスコスクール公式ウェブサイトに公開  
コメント募集(10月中旬) ⇒ コメントを反映
- 文科省とのコンサルテーション
- ユネスコスクール世界大会 第6回全国大会で提案  
◆案の提示→コメント受付→起草委員会検討→最終案提示  
→ ユネスコスクール宣言採択(2014年11月8日)

# 宣言の構成

1. 「私たちにとってのESD」
2. 日本のユネスコスクールによる「国連ESDの10年」の成果
3. 日本のユネスコスクール: 私たちのコミットメント(誓い)
4. 学校によるさらなるESD推進: ユネスコスクールからの提案

## ESD推進のためのユネスコスクール宣言 (ユネスコスクール岡山宣言)

### 私たちにとってのESD

私と、あなた、学校のみんな、地域みんな、世界のみんなへとつながっていく。  
だから、私は、見えないあなたと励まし合い、支え合える存在であるという尊さに気づき、  
何か行動したくなる。  
教室から校庭へ、校庭から地域へ、地域から私の国へ、私の国からあなたの国へ、  
そして世界へ、地球へ、私の世界は広がっていく。  
だから、私は、どこか場所にもかけがえのない宝が息づいていることに気づき、  
何か行動したくなる。  
今と、過去とのつながり、明日とのつながり、遠い未来とのつながり。  
今の私は過去や未来とつながっていく。  
だから、私は、この大きな時間の流れのなかで、たいせつな責任を負っていることに気づき、  
何か行動したくなる。

(児童の姿容を児童の視点から叙述したユネスコスクール教員による「詩」にもとづく)

ESD のビジョンを取り入れることで、子どもたちの学びのなかに、さまざまなつながりが生まれます。他者、世界の多様性、いのちある地球、自然、科学・技術、文化、過去および未来などと自己とのつながりです。こうしたつながりのなかで、学びは深まり、子どもたちの心のなかに生き続け、持続可能な未来を創造する力となります。その力は行動と協働を呼びおこす力です。そして、問い続け学び続ける力です。

### 日本のユネスコスクールによる「国連ESDの10年」の成果

日本におけるユネスコスクールは、1953年に、ユネスコが世界の学校でその理念を実現する事業を開始した当初から日本の学校が参加して、今にいたります。日本では、学習指導要領や教育振興基本計画などに持続可能な社会の構築やESD推進の観点が盛り込まれています。日本ユネスコ国内委員会「ESDの普及促進のためのユネスコ・スクール活用について(提言)」(2008年2月)によって、ユネスコスクールは、ESD推進の拠点として位置づけられました。ESDのビジョンと、ユネスコスクールの目的に共感した教師と学校を支援する人々や組織によって、ユネスコスクールは飛躍的に仲間を増やし、現在国内807校を数えます。全国のユネスコスクールによって、学校教育におけるESDの裾野は大きくひろがりました。「国連ESDの10年」を通して、ユネスコスクールでのESDには、多くの成果が見られるようになりました。

各ユネスコスクールのESD実践では、平和、環境、生物多様性、エネルギー、人権、国際理解、多文化共生、防災、文化遺産、地域学習などを入り口として、取り組むべき課題を、体験的・探究的に発見し解決していくためのプロジェクトやカリキュラムが開発されました。各教科のなかだけでなく、総合的な学習の時間等を有効に活用しそれらを関連づけながら、ESDは実践されてきました。

地域の特徴を活かしたESD実践を通じて、子どもたちは、地域社会が人と人々が支えあって成り立っていることを深く理解し、地域の良さと抱える課題を知り、未来に伝えるべきこと、あるいは変革すべきことを地域の人々

## Okayama Declaration of the UNESCO Associated Schools in Japan Promoting Education for Sustainable Development (ESD) beyond the United Nations Decade of ESD

### What ESD means to us

*I am connected to you, to everyone at school, to everyone in the community, an inclusive community, and to everyone in the world.  
Therefore, even though you may be hidden from my view, recognizing the value of my role in encouraging each other and supporting each other makes me want to do something.  
My world extends from the classroom to the schoolyard, from the schoolyard to the community, from the community to my country, from my country to your country, and then further to the world and to the Planet.  
Therefore, recognizing that precious living treasures are present everywhere, makes me want to do something.  
Connections with the past, with tomorrow and with the distant future. Now, I am connected with the past and with the future.  
Therefore, recognizing that I shoulder an important responsibility amid this long passage of time, makes me want to do something.*

Based on a message from teachers describing their perceptions of student transformation at a UNESCO Associated elementary School

Incorporating the ESD vision will lead to the creation of various connections within children's learning - connections between themselves and other people, as well as with the diversity of the world, the living earth, nature, science and technology, culture, the past and the future. Amid such connections, learning will deepen and survive in the hearts of children, and it will support the creation of a sustainable future. This support will be in the form of power to invoke action and collaboration, and the ability to continue inquiring and learning.

### Outcomes of the UNESCO Associated Schools in Japan under the UN Decade of ESD

In 1953, UNESCO launched a programme to realize its ideals in schools around the world. Schools in Japan have participated in the programme from the outset. In Japan, the Course of Study (National Curriculum Standard) and the Basic Plan for the Promotion of Education incorporate the ideas of constructing a sustainable society and promoting ESD. UNESCO Associated Schools in Japan were positioned as bases for promoting ESD in accordance with the Proposal regarding the effective utilization of UNESCO Associated Schools for the promotion and dissemination of Education for Sustainable Development (ESD) (February 2008) by the Japanese National Commission for UNESCO. Through the ESD vision, and by virtue of teachers who empathize with the objectives of UNESCO Associated Schools Project Network

# 宣言の3つの特徴


## 1. 日本のESD実践の特徴として「つながり」を重視していること

- 自分と他者(人)とのつながり
- 過去と現在、未来(時間)とのつながり
- 自分と地域や社会、世界(空間)とのつながり
- 自然と文化、科学技術(環境や文化、科学)のつながり
- 多様な主体とのつながり      ○教科・領域・活動のつながり
- テーマや課題(Issue)のつながり
- 子供、教師、保護者、地域の変容のつながり

## 2. 日本の「教育を変えていくビジョン」としてESDを捉えていること

## 3. 持続可能な未来をつくる「変化の担い手」として子供と教師を捉えていること





本資料について

●本資料は、「ユネスコスクール世界大会 第6回ユネスコスクール全国大会」（平成26年11月8日、主催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会 共催：国立大学法人 岡山大学、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県、岡山県教育委員会、NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（NFUAJ）、会場：岡山大学）での発表資料、「ESDに関するユネスコ世界会議フォローアップ会合」（平成26年11月13日、文科省主催、外務省・環境省共催、会場：名古屋国際会議場）での発表資料に基づきます。

●本資料は、「ユネスコスクール世界大会 全国大会宣言起草・事例選考委員会」の宣言ワーキンググループ代表の永田佳之氏（聖心女子大学）、委員の及川幸彦氏（宮城教育大学/SEEDS Asia）、およびACCUの協働によって作成されました。